

# 安全衛生教育センター 50年のあゆみ

1972年度  
(昭和47)

- ・労働安全衛生法が公布、施行される
- 第60条にて事業者責任のひとつとして職長教育の実施が決まる

1973年度  
(昭和48)

- ・安全衛生教育センターが東京都清瀬市に設立される(8月1日)
- ・第1回現場監督者の安全衛生教育担当講師養成講座
- 「安全衛生トレーナー養成講座」が10月1日からスタートする
- ・第1回の受講者17名が、日本の安全衛生水準の向上を願って「げやき」を記念植樹する(別掲)



労働大臣代理 薬梨労働政務次官を迎えるの開所式



安全衛生教育センター開講当日  
(昭和48年10月1日)

1974年度  
(昭和49)

- ・安全衛生トレーナー養成講座を「RST講座」に改称する
  - ・「教育センターだより」(S49～S54、10回)を発行、効果的な職長教育、教材の作り方、教え方について取り上げる
  - ・労働衛生工学講座が指定講習となり修了試験が始まる
- 《主な新設コース》
- 「教育コース」
  - (翌年)「新入者安全衛生教育トレーナー養成コース」と改称
  - 「産業安全専門講座」(化学、建設安全コース)
  - 「専任衛生管理者コース」



RST講座の特徴である「講師の模擬演技」(左)と「グループ討議」(右)



局所排気装置による実習(東京)

1975年度  
(昭和50)

- ・RST講座が100回目を迎え、記念行事「RST研究会」を東京と大阪で行う
  - ・全国産業安全衛生大会で初めてRST討議集会(翌年から特別集会)が開催される
- 《主な新設コース》
- 「産業安全専門講座」(電気安全コース)

1976年度  
(昭和51)





- ・建設関係受講者が増え、RST講座は建設コースと一般コース(製造業)の二本立てとなる
  - ・RST講座が200回目を迎え、記念行事「RST研究会」を福岡、名古屋で行う
  - ・「安全管理講座研究コース」を見直し「専任安全管理者コース」としてスタートする
- 《主な新設コース》
- 「動力プレス機械点検整備コース」
  - (後の)「動力プレス検査者研修コース」




動力プレス実技研修(東京)

1977年度  
(昭和52)



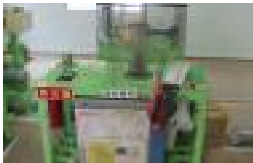


- ・RST講座が300回目を迎え、記念行事「RST研究会」を仙台と広島で行う



1985年度 (昭和60)	1984年度 (昭和59)	1983年度 (昭和58)	1981年度 (昭和56)	1979年度 (昭和54)	1978年度 (昭和53)
<p>《主な新設コース》</p> <p>「中小企業安全衛生指導員コース」</p> <p>「ビル管理業職長等教育トレーナー養成コース」</p> <p>及び「安全衛生管理特別指導事業場の経営首脳者等に対する経営者安全衛生セミナー」</p>	<p>《主な新設コース》</p> <p>「有機溶剤業務従事者教育インストラクターコース」</p>	<p>《主な新設コース》</p> <p>「安全衛生関係法令コース」</p>	<p>・ RST講座スライド「作業手順の定め方」「作業方法の改善」を制作する</p> <p>・ 都道府県労働基準局、労働基準協会連合会等へ受講勧奨依頼、中災防賛助会員等への受講勧奨を積極的に行う</p>	<p>《主な新設コース》</p> <p>「粉じん作業インストラクターコース」</p> <p>特定自主検査講座「フォークリフト事業内検査者研修コース」(大阪)</p>	<p>《主な新設コース》</p> <p>特定自主検査講座「フォークリフト検査者指導員研修コース」</p> <p>「車両系建設機械検査者指導員養成コース」</p> <p>「動力プレス検査者研修コース」</p> <p>「動力プレス事業内検査者研修コース」</p> <p>および「プレス安全インストラクターコース」</p> <p>ならびに安全衛生スタッフ講座等</p>
<p>・ O A機器の普及による労働衛生上の問題が指摘され</p> <p>「VDT作業における労働衛生管理のための指針」が公表され、インストラクターコースの開設準備する</p>	<p>・ 「産業用ロボット特別教育インストラクターコース」に受講者が殺到する</p>	<p>・ 産業用ロボットの安全対策強化のため労働安全衛生規則が改正され</p> <p>「産業用ロボット特別教育インストラクターコース」を開設する</p> <p>・ 全国産業安全衛生大会でRSTトレーナー制度10年記念特別集会を行う</p>	<p>・ 衛生工学、粉じん作業の実習</p> <p>および呼吸用保護員等の教材について専門家により検討する</p> <p>・ 「労働衛生工学講座」を「衛生工学衛生管理者コース」と改称する</p>	<p>・ 大阪安全衛生教育センターが大阪府河内長野市に設立され(11月6日開講)、東京、大阪の東西でRST講座を開催する</p> <p>・ 教育センター5周年記念行事「安全衛生教育体験交流会」を札幌と松山で行う</p>	
		<p>産業用ロボット実習室(大阪)</p> 	<p>フォークリフトの実習(大阪)</p> 	<p>衛生工学実習(東京)</p> 	<p>大阪安全衛生教育センター 建設中(上)と開設直後(下)</p> 

2001年度 (平成13)	1999年度 (平成11)	1998年度 (平成10)	1996年度 (平成8)	1994年度 (平成6)	1991年度 (平成3)	1990年度 (平成2)	1989年度 (平成元)	1988年度 (昭和63)	1987年度 (昭和62)	1986年度 (昭和61)
<p>《主な新設コース》</p> <p>「安全衛生委員会コース」、「安全衛生教育技術コース」</p>	<p>《主な新設コース》</p> <p>「騒音作業管理コース」</p>	<p>・ RSTビデオ「頑張る田中職長」を制作する</p> <p>・ 受講要件が緩和され衛生工学衛生管理者コースに「4日間コース」を開設する</p>	<p>《主な新設コース》</p> <p>「腰痛予防労働衛生教育インストラクターコース」を大阪教育センターで開設する</p>	<p>・ 阪神淡路大震災発生(H7.1.17)</p> <p>大阪教育センターで講師手配が困難となるが開始時間を調整するなどして講座を開催する</p> <p>・ RSTビデオ「教え方、指導の仕方」、「作業手順の定め方」を改訂する</p>	<p>・ RST講座「一般用ビデオ」作業方法の改善を考える「環境改善の定め方」を改訂する</p>	<p>・ 労働安全衛生法が改正され特定自主検査講座に「高所作業車検査者指導員コース」を新設する</p>	<p>・ 週休2日制の普及に伴い、RST講座の研修期間を5日間に短縮する</p>	<p>《主な新設コース》</p> <p>「安全衛生担当者コース」</p>	<p>《主な新設コース》</p> <p>「静電気安全対策コース」</p>	<p>・ 5月に、皇太子殿下(現天皇陛下)が産業安全研究所清瀬試験場をご視察され東京教育センターにて産業安全研究所所長によるご進講が行なわれる</p> <p>《主な新設コース》</p> <p>「VDT作業労働衛生教育インストラクターコース」</p> <div data-bbox="1854 1078 2051 1350">  </div> <p>VDT作業の実習(プリンターの音源も測定していた) フリッカ一値測定(下)</p>

2009年度 (平成21)	2008年度 (平成20)	2007年度 (平成19)	2006年度 (平成18)	2005年度 (平成17)	2004年度 (平成16)	2003年度 (平成15)	2002年度 (平成14)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・RSTビデオ「マネジメント時代の職長の職務―問題解決を図る田中職長」を制作する</li> </ul> <div data-bbox="152 986 362 1353" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="228 1353 286 1369">RSTビデオ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・RSTビデオ「作業環境・方法の改善(建設)」を改訂する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・RSTビデオ「作業環境改善の方法(一般)」を改訂する</li> </ul> <p>《主な新設コース》</p> <p>「職場の化学物質管理実務研修コース」</p>	<p>《主な新設コース》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「衛生工学衛生管理者2日間コース」</li> <li>「特定化学物質等作業主任者能力向上教育インストラクターコース」</li> <li>「プレス機械作業主任者能力向上教育インストラクターコース」</li> <li>「動力プレス取扱作業特別教育インストラクターコース」</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・RSTビデオ「マネジメント時代の職長の職務」を制作する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設業における安全衛生責任者に対する教育及び職長等教育講師養成講座等のカリキュラムの改正について(通達：H18.5.12日付け基発第0512004号)に基づき、RST講座建設コースにリスクアセスメントを導入する</li> <li>・職長教育科目がリスクアセスメント関連科目の追加により変更される(別掲：教育科目の比較表)</li> <li>・RSTビデオ「マネジメント時代の職長の職務」を制作する</li> </ul>	<p>《主な新設コース》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「電気取扱作業特別教育インストラクターコース」</li> </ul>	<p>《主な新設コース》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「安全衛生委員会コース」、「安全衛生教育技術コース」</li> <li>「非常常作業における安全衛生管理コース」</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職長教育用テキスト「職長の安全衛生テキスト」が発行される</li> <li>・RSTビデオ「作業方法の改善(建設)」を改訂する</li> <li>・全国産業安全衛生大会RST分科会において、RST講座30周年を記念してシンポジウム「求められる職長像と職長教育」を開催する</li> </ul>	<p>《主な新設コース》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「ダイオキシソシン類作業従事者特別教育インストラクターコース」</li> <li>「酸素欠乏危険作業等特別教育インストラクターコース」</li> <li>「アーク溶接等特別教育インストラクターコース」</li> <li>「研削といしの取替え等業務特別教育インストラクターコース」</li> <li>「健康管理情報活用コース」</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・RSTビデオ「作業方法の改善(一般)」を改訂する</li> <li>・RST講座に通所コース、低層住宅建設業者向けのコース「建設コース・低層」を開設する</li> </ul>

W1090×H900

2013年度 (平成25)	2012年度 (平成24)	2011年度 (平成23)	2010年度 (平成22)
<p>《主な新設コース》</p> <p>「動力プレス特定自主検査実施者レベルアップ研修コース」</p> <p>「型別三大災害防止教育トレーナーコース(大阪)」</p> <p>《主な新設コース》</p> <p>「RSTトレーナーの専門性、能力向上を図る研修として現場指導力向上コース(東京、RSTトレーナーブッシュアップ研修コース)(大阪)を開催する</p> <p>・全国産業安全衛生大会でRST講座40周年記念</p> <p>「安全衛生教育トレーナー交流会」を開催する</p> <p>・東日本大震災復興支援のためRST講座仙台特別コースを実施する</p>  <p>型別三大災害の安全体感車全景</p>  <p>安全体感車内の装置(巻き込まれ)</p>  <p>安全体感車内の装置(溶剤爆発)</p>  <p>研修用のサーボプレス(左)と液圧プレスプレーキ(右) (東京安全衛生教育センター)</p>	<p>《主な新設コース》</p> <p>「メンタルヘルス教育研修トレーナーコース」</p> <p>「振動工具取扱作業安全衛生教育インストラクターコース」</p> <p>「石綿使用建築物解体等業務特別教育インストラクターコース(東京)」</p> <p>「ガス溶接業務従事者安全衛生教育インストラクターコース(大阪)」</p>  <p>東日本大震災復興支援のためのRST講座仙台特別コース</p>	<p>《主な新設コース》</p> <p>「熱中症予防労働衛生教育インストラクターコース」</p> <p>「携帯用丸のこ盤作業従事者安全教育インストラクターコース」</p> <p>・東日本大震災発生(H23.3.11)</p> <p>東京教育センターで帰宅困難となった受講者に居住棟を解放、翌週から計画停電に対応した日程で講座を実施する</p> <p>・職長の安全衛生テキストの改訂に伴いRST講座テキストを改訂する</p> <p>・全国産業安全衛生大会教育分科会シンポジウムで</p> <p>「現場力強化のための職長の役割と今後の課題：未来に伝えること」を開催する</p>	<p>・東日本大震災発生(H23.3.11)</p> <p>東京教育センターで帰宅困難となった受講者に居住棟を解放、翌週から計画停電に対応した日程で講座を実施する</p>

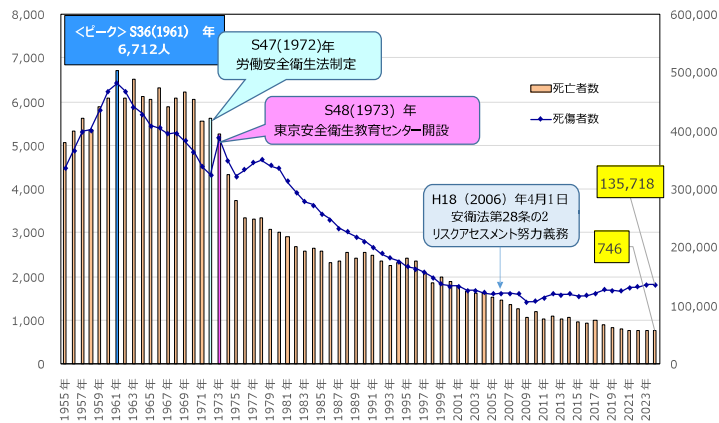
2017年 (平成29)	2016年 (平成28)	2015年度 (平成27)	2014年度 (平成26)
<p>「心理的な負担の程度を把握するための検査及び面接指導の実施並びに面接指導結果に基づき事業者が講ずべき措置に関する指針」(H27・11)による「ストレスチェック制度」の導入に伴い、メンタルヘルス関連講座のカリキュラム内容を見直す</p> <p>【主な新設コース】</p> <p>健康・衛生スタッフコース</p>	<p>・労働安全衛生規則の改正により、墜落災害防止のための特別教育が義務付けられインストラクターコースを新設する</p> <p>・足場の組立て等業務特別教育インストラクターコース(H27・7・1 義務化)</p> <p>・ロープ高所作業特別教育インストラクターコース(H28・7・1 義務化)</p>  <p>ロープ高所作業(実習用ブランコ)</p>	<p>・第3次産業の労働者数及び労働災害の増加傾向がみられるなか、RST講座一般コースに小売業向けコースを開設する</p> <p>・労働安全衛生規則に食品加工用機械の安全基準が追加される(H25・10・1)</p> <p>【主な新設コース】</p> <p>食品加工用機械等取扱業務従事者安全教育トレーナーコース</p>	<p>・社会福祉施設をはじめ保健衛生業において、腰痛災害が急増していることから、厚生労働省は「職場における腰痛予防指針」(H25・6)を公表、福祉用具の取扱方法も取り入れた腰痛予防対策の周知、推進を図る</p> <p>【主な新設コース】</p> <p>動力プレス・シャワー業務特別教育インストラクターコース(改称)</p> <p>腰痛予防労働衛生教育インストラクターコース(福祉・医療分野等コース)</p>  <p>腰痛予防対策(櫓型リフト)</p>

2021年 (令和3)	2020年 (令和2)	2019年 (令和元)	2018年 (平成30)
<div data-bbox="125 454 663 1129" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="152 1252 582 1279">石綿調査（設計図・石膏ボードの観察と討議）</p> <ul data-bbox="703 193 972 1481" style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルス感染症対策の一環として、特別研修講座をオンラインや事業場への出張研修として実施する</li> <li>・ コロナ禍中の出張制限に対しRST講座仙台コースを開催する（R5年まで）</li> <li>・ 建築物石綿含有建材調査者による調査が義務付けられ（R2・7・27 厚生労働省告示276号）、「建築物石綿含有建材調査者講習（2日間）」を開設する</li> <li>・ 「建築物石綿含有建材調査者講習（2日間）」コースは、早急に調査者を養成する需要に応えるために、東京都港区、長野県松本市、千葉市で開催する（R4年まで）</li> </ul>	<ul data-bbox="994 193 1173 1343" style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルス感染症の大規模感染拡大に向け、中防災のすべての研修セミナーが中止となる（4月末まで）</li> <li>・ 4月7日緊急事態宣言が発令される。部分的解除（5月14日から）を受け6月15日から一部講座を再開する</li> <li>・ 感染防止対策（三密回避等）を徹底し研修を実施する</li> <li>・ 受講者数は半年開催の初年度を除き最小の1,397名となる</li> </ul>	<ul data-bbox="1272 193 1299 1125" style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルスによる感染が広まり始め令和2年3月開催の講座・コースが中止となる</li> </ul>	<div data-bbox="1344 624 1854 1018" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1355 1070 1646 1094">フルハーネス型墜落制止用器具</p> <ul data-bbox="1870 193 2049 1481" style="list-style-type: none"> <li>・ 墜落災害防止を図るため、安全帯（墜落による危険を防止するためのもの）を墜落制止用器具と改めた上、労働安全衛生規則等が改正され、墜落制止用器具を用いて行う作業の特別教育が義務付けられる（H31・2・1施行）</li> <li>【主な新設コース】</li> <li>フルハーネス型墜落制止用器具特別教育インストラクターコース</li> </ul>

2024年 (令和6)	2023年 (令和5)	2022年 (令和4)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講申し込み方法のWEB化を検討し、12月から運用を開始する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場指導力向上コースをオンライン研修としてトライアル実施する</li> </ul> <div data-bbox="1265 726 1706 1136" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1288 1252 1646 1276">オンライン研修（センターからの配信）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「食料品製造業」及び「新聞業出版業・製本業及び印刷物加工業」に職長等教育が義務付けられ、RST一般コースを増設する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染対策中の企業の出張制限に対し、RST講座の出張研修を開催する（R5年まで）</li> <li>・コロナ禍の受講控えから脱し、3,396名が受講する</li> </ul>

## 労働災害の推移

図1



死傷者数（1972年までは休業8日以上、1973年から休業4日以上）  
2011年（東日本大震災を直接原因とするものは除く）

## 累積受講者の講座別内訳（昭和48年度～令和6年度、東京）



## 労働災害の推移と東京教育センターの受講者数の推移

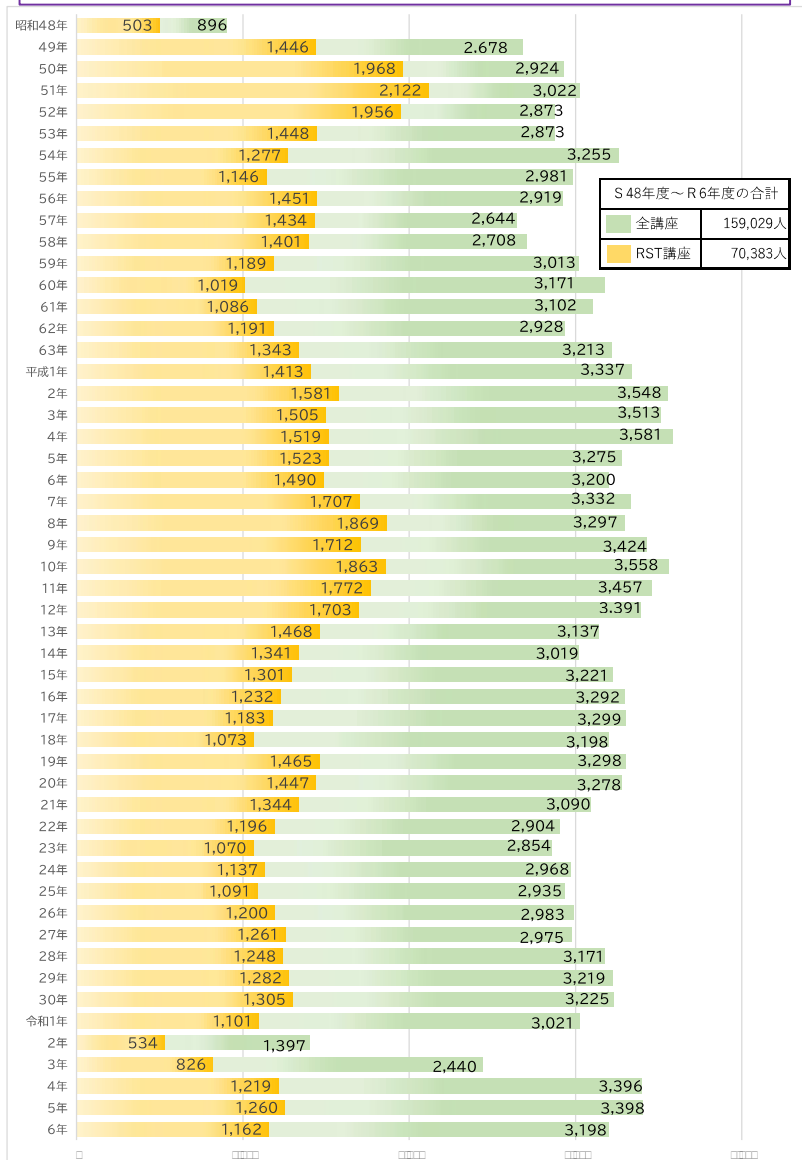
労働災害の発生件数は1961年(昭和36年)に死亡者数6,712とピークを記録したが、1972年(昭和47年)の労働安全衛生法制定以後、急速に減少してきた。図1

安全衛生教育センターは1973年(昭和48年)に東京が、1978年(昭和53年)に大阪が開設され、2024年までの修了者は30万人を超え、全国の企業・職場で安全衛生の指導者として活躍しわが国の安全衛生水準の向上に寄与してきた。

東京教育センターの受講状況を見ると、RST講座の割合がやや減っているものの、衛生工学や特別教育インストラクターコースなど幅広く専門家を養成する講座ニーズも高く、年間3千人を超える修了者を輩出している。図2、3

## 年度ごとの受講者数の推移(昭和48年度～令和6年度)

図2



全講座	159,029人
RST講座	70,383人

(人)